

目標達成計画

作成日: 令和 2年 1月 14日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	現状では病院に入院されそのまま戻られる事なく病院で亡くなる方がほとんどでしたが、最近は病院で延命治療を行わない意向の本人、家族様が増えています。入居者様の最期の場所として自宅では家族様も含めて対応が難しいとの事で馴染みである施設での看取りを希望されるようになりました。実際看取りを行う場合の対応と支援方法、看取りを行う事による家族、職員のサポート体制の構築。	医療、介護連携の推進などにより今後も施設での看取りの増加が予測されるので、エンゼルケアを含む全体のケアを学ぶ機会を設け、誰もが最期まで尊厳を保ち安らかな気持ちで過ごせるような視点をもったケアの提供ができるような実践力の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 具体的な役割を含めたマニュアル作成(医師、看護師も含めて) 研修やセミナーなどに参加して様々な知識を得て職員で共有する 	6ヶ月
2	35	火災などの対応は、設備や火器を使用しない事で未然に防ぐ事が可能な場合が多いですが、地震、水害などの自然災害では対応が難しい面が多くあります。現状での入居者様の身体レベルで可能な役割を含めた防災マニュアルの作成、具体的な避難行動を決めておくなどの体制作り。	いざという時に自らを、そして入居者様、職員を守る為、職員一人ひとりが災害等を正しく理解し、事前に備える災害への心構えを常に高めておくこと。	<ul style="list-style-type: none"> 確実な避難誘導ができるような避難訓練を実施する(実際の避難場所への避難訓練、2階以上の建物へ) 具体的な役割を含めたマニュアルの作成 	6ヶ月
3					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。